

市立田名中学校外 3 校屋内運動場 高天井照明 L E D 化改修修繕

図面番号	図面名称	縮尺
E-01	表紙・図面リスト	N.S.
E-02	電気設備特記仕様書	N.S.
E-03	参考機器姿図（市立田名中学校）	N.S.
E-04	屋内運動場平面図（市立田名中学校）	N.S.
E-05	参考機器姿図（市立大沢中学校）	N.S.
E-06	屋内運動場平面図（市立大沢中学校）	N.S.
E-07	参考機器姿図（市立共和中学校）	N.S.
E-08	屋内運動場平面図（市立共和中学校）	N.S.
E-09	参考機器姿図（市立内郷中学校）	N.S.
E-10	屋内運動場平面図（市立内郷中学校）	N.S.

電気設備特記仕様書

・修繕内容

1. 修繕名称 市立田名中学校外 3 校屋内運動場高天井照明 LED 化改修修繕

2. 修繕場所 相模原市中央区田名 5 2 5 0 - 1 外

3. 建物概要

建物名称	構造	階数	延面積（㎡）	消防令別表第 1	工事種目	備考

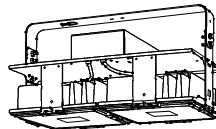

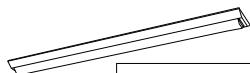
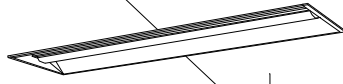
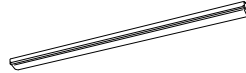
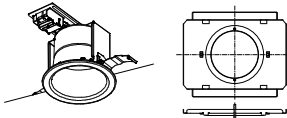


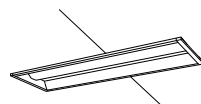

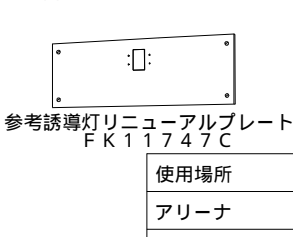
・一般（共通）事項

2-1 工事区分	工事目的物を建築工事、電気設備工事、給排水衛生設備工事及び空調設備工事等に分割して発注する場合の区分表は、別添「工事区分表」による。
2-2 用語の定義	「監督員」とは、相模原市請負工事監督規程による監督員をいい、統括監督員及び担当監督員をいう。 「契約条項」とは、相模原市工事請負契約書の契約条項をいう。
2-3 工事実績情報の登録（受注、変更、竣工）	受注者は、受注時、変更時及び完成時において契約金額 5 0 0 万円以上の工事について、（一財）日本建設情報総合センター・テクリスコリンスセンターの定めるところにより、発注機関確認者情報を入手したのち工事実績データを作成し、監督員等による確認後、工事実績情報システム（C O R I N S）に登録しなければならない。ただし、行政機関の休日を除き、契約後 1 0 日以内に行うこと。
2-4 疑義に対する協議	設計図書に疑義が生じた場合は、監督員と協議を行い承諾を得てから施工を行う。
2-5 工事の一時中止に係る事項	1 契約条項第 20 条の規定により工事の一時中止の通知を受けた場合は、中止期間中における工事現場の管理に関する計画（「基本計画書」という。）を発注者に提出し、承諾を受けること。 2 工事の施工を一時中止する場合には、工事の続行に備え工事現場を保全すること。
2-6 工事写真	1 工事（工程）写真 （1）工事着手前、各作業手順、各搬入材（材料別）、完成後を撮影、工事写真帳に整理して提出する。 （2）撮影にあたっては工事黑板报を使用し、撮影場所（部位）、日付、作業内容、立会者、確認者氏名、搬入材・廃棄材の種類・数量などを記入する。 （3）撮影にあたっては「工事写真撮影ガイドブック（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修）」を参考とする。 2 完成写真（契約条項第 32 条に基づく工事完成届に添付） （1）工事着手前と完成後と同じアングルで撮影し、完成写真帳として見開きで比較できるよう整理する。 （2）解体工事にあたっては、上記に加え地下埋設部分の施工写真を添付する。
2-7 発生材の処理等	1 建設副産物 建設副産物（コンクリート・アスファルト塊・路盤材）「建設副産物適正処理推進要綱」による。 2 発生材 受注者は、関係法令に従い、受注者の責任において処分を行うものとする。発生材のうち、工事現場において再利用・再資源化を図るもの。現場説明書 3 - （5）及び「残材の処理及び再生材の利用に関する仕様書」による。 また「廃棄物の処理及び清掃に関する法律（昭和 45 年法律第 137 号）」において定める産業廃棄物管理表（紙マニフェスト）または電子マニフェストにより管理するものとする。産業廃棄物管理表（紙マニフェスト）で管理した場合は、A 票及び E 票が送付され次第、その原本を監督員に提示する。電子マニフェストで管理した場合は、運搬終了報告、処分終了報告、最終処分終了報告の通知が届き次第、その原本を監督員に提示する。なお、特別管理産業廃棄物の有無については、現場説明書（3 - （5）発生材の処分等）により、該当する場合は次のとおりとする。 発注者に引渡しを要するもの（該当する物はステンレス容器に収めること） ・ポリ塩化ビフェニル（PCB）含有物 ・金属類・その他（ ） 特別管理産業廃棄物の種類及び処理方法 ・有（種類： ） ・無 ・使用箇所（ ） 分析調査の要否 ・有 ・無（分析調査済） 処理方法（ ）

<p>2-8 石綿含有に関する事前調査</p> <p>2-9 環境への配慮</p>	<p>現場説明書（3-（10）石綿含有に関する事前調査）による。</p> <p>使用する材料及び施工方法については、室内環境に配慮した選定を行う。</p> <p>（1）室内環境に影響を与える可能性のある材料等については、監督員の指示により、その物性等の確認できる資料を提出する。</p> <p>（2）現場説明書（3-（11）公共建築物の工事に伴う室内空気環境測定）に該当する場合は、工事完成時に空気中に含まれるホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン、パラジクロロベンゼンの濃度測定を実施し、報告書により結果を報告する。</p> <p>試料採取方法は、吸引方式（アクテップ法）とし、1箇所当りの試料は2採取試料を同時採取する。また、分析は厚生労働省「室内空气中化学物質の室内濃度指標値及び標準的測定方法について」に準ずる。</p> <p>測定の指定時期 ・ 工事完成時 ・ （ ）</p> <p>測定対象室 （ ）</p> <p>測定箇所数 （ ）箇所</p>																																	
<p>2-10 材料の品質等</p>	<p>1 本修繕に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能を有するものとし、設計図書に定めのない材料は、当該現場で使用するほかの材料と同程度の品質と機能が保証された材料とすること。なお、材料は製造工場により品質管理がなされたものとする。</p> <p>2 設計図書に定めのある材料については、材料の品質及び性能を有することの証明となる資料（試験成績書等）を監督員へ提出し、承諾を受けること。ただし、下記の（1）、（2）に該当する場合はこの限りではない。</p> <p>（1）設計図書に定めるJISの材料で、JISのマーク表示があるものを使用する場合</p>																																	
<p>2-11 材料検査 （印の付いたものを適用する。）</p>	<p>（2）「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 建築材料等評価名簿（契約時の最新版）」に記載されている評価材料を使用する場合（特記等で公共建築工事標準仕様書・公共建築改修工事標準仕様書の規定に基づく品質及び性能以外の材料を規定した場合は除く。）</p> <p>受注者は、材料の現場搬入の際、当該材料が設計図書に定められた仕様と適合していることを確認する。このうち、次に指定する材料については監督員の材料検査を受けるものとする。また、指定する材料以外のもので監督員が必要と認めた場合は材料検査を受けること。</p> <p>なお、監督員が立ち会えない場合及び監督員より材料検査を行わない旨の連絡があった場合、受注者は自ら検査を実施し、結果を監督員に報告するものとする。</p> <table border="1" data-bbox="949 1045 1243 1325"> <thead> <tr> <th>資材名称</th> <th>資材名称</th> <th>資材名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>電柱</td><td>開閉器盤</td><td>スピーカー</td></tr> <tr><td>高圧開閉器</td><td>分電盤</td><td>テレビアンテナ</td></tr> <tr><td>ハンドホール</td><td>時計</td><td>共聴機器</td></tr> <tr><td>高圧ケーブル</td><td>総合盤</td><td>表示盤</td></tr> <tr><td>高圧端末処理材</td><td>照明器具</td><td>火災報知受信機</td></tr> <tr><td>防水鋼鉄管</td><td>端子盤</td><td>感知器</td></tr> <tr><td>キュービクル</td><td>電話交換機</td><td>区画貫通処理材</td></tr> <tr><td>トランス</td><td>電話機</td><td>直流電源装置</td></tr> <tr><td>リアクトル</td><td>放送機器</td><td>無停電電源設備</td></tr> <tr><td>自家発電設備</td><td>放送アンプ</td><td></td></tr> </tbody> </table>	資材名称	資材名称	資材名称	電柱	開閉器盤	スピーカー	高圧開閉器	分電盤	テレビアンテナ	ハンドホール	時計	共聴機器	高圧ケーブル	総合盤	表示盤	高圧端末処理材	照明器具	火災報知受信機	防水鋼鉄管	端子盤	感知器	キュービクル	電話交換機	区画貫通処理材	トランス	電話機	直流電源装置	リアクトル	放送機器	無停電電源設備	自家発電設備	放送アンプ	
資材名称	資材名称	資材名称																																
電柱	開閉器盤	スピーカー																																
高圧開閉器	分電盤	テレビアンテナ																																
ハンドホール	時計	共聴機器																																
高圧ケーブル	総合盤	表示盤																																
高圧端末処理材	照明器具	火災報知受信機																																
防水鋼鉄管	端子盤	感知器																																
キュービクル	電話交換機	区画貫通処理材																																
トランス	電話機	直流電源装置																																
リアクトル	放送機器	無停電電源設備																																
自家発電設備	放送アンプ																																	
<p>2-12 中間技術検査</p>	<p>中間技術検査は、次の場合に実施する。</p> <p>（1）低入札価格契約の場合。</p> <p>（2）標準仕様書による他、検査を実施する段階及び回数が下記に記載された場合。</p> <table border="1" data-bbox="949 1453 1243 1505"> <thead> <tr> <th>実施する段階</th> <th>回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table>	実施する段階	回数																															
実施する段階	回数																																	
<p>2-13 引渡し物品等 （提出図面は○印の付いたものを適用する。）</p>	<p>受注者は完成時に提出すること。なお、各物品の適用及び数量等は以下による。</p> <table border="1" data-bbox="949 1579 1243 1661"> <thead> <tr> <th rowspan="2">提出図面</th> <th colspan="3">提出部数</th> </tr> <tr> <th>屏風製本 A 版</th> <th>屏風製本 A 版</th> <th>CDデータ（JWW及びPDF）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○竣工図 ・ 施工図</td> <td></td> <td></td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>屏風製本は正面及び背表紙面に工事名称を記す</p> <table border="1" data-bbox="949 1688 1243 1904"> <thead> <tr> <th>提出書類</th> <th>提出部数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>機器完成図・各種保証書</td><td>1</td></tr> <tr><td>完成写真</td><td>1</td></tr> <tr><td>各種検査書及び成績書</td><td>1</td></tr> <tr><td>維持管理説明書（保守指導書）</td><td></td></tr> <tr><td>関係者一覧表</td><td></td></tr> <tr><td>官庁関係届出書類</td><td>1</td></tr> <tr><td>備品等（ ）</td><td></td></tr> </tbody> </table>	提出図面	提出部数			屏風製本 A 版	屏風製本 A 版	CDデータ（JWW及びPDF）	○竣工図 ・ 施工図			1	提出書類	提出部数	機器完成図・各種保証書	1	完成写真	1	各種検査書及び成績書	1	維持管理説明書（保守指導書）		関係者一覧表		官庁関係届出書類	1	備品等（ ）							
提出図面	提出部数																																	
	屏風製本 A 版	屏風製本 A 版	CDデータ（JWW及びPDF）																															
○竣工図 ・ 施工図			1																															
提出書類	提出部数																																	
機器完成図・各種保証書	1																																	
完成写真	1																																	
各種検査書及び成績書	1																																	
維持管理説明書（保守指導書）																																		
関係者一覧表																																		
官庁関係届出書類	1																																	
備品等（ ）																																		

2-14 工事看板	<p>1 工事現場が複数にわたる場合にも、各現場に設置するものとする。 ただし、これにより難い場合は監督員との協議による。</p> <p>2 工事現場には、公衆が見やすい場所に次の事項を記載した工事看板を表示する。</p> <p>(1) 工事名称 (2) 工事期間 (3) 受注者及び連絡先 (4) 現場代理人氏名及び連絡先 (5) 工事概要 (6) 発注者及び連絡先 (7) 工事監理者及び連絡先</p>																										
2-15 施工中の安全確保及び環境保全	工事の施工中にあたっては、関係法令により、工事現場における標示施設等を設置すること。																										
2-16 履行報告	<p>1 契約条項第11条に規定する履行報告は、工事履行報告書とし、提出の要・不要は、現場説明書(3-(8)履行報告書)による。</p> <p>2 記載内容は監督員から指示の無い場合、次を標準とする。</p> <p>(1) 工事総合進度 (2) 当月の実施作業内容 (3) 現場写真 ア 外観 定点撮影し、月毎の工事進捗状況を把握できるもの イ 内観</p>																										
2-17 契約不適合点検	<p>契約条項第45条に規定する契約不適合責任の、契約不適合点検の要・不要については、現場説明書(3-(9)契約不適合点検)による。工事目的物の引渡しの日から1年以内(原則として引渡し日から起算して11か月を経過以降、12か月を経過する以前の期間)に工事目的物の、契約不適合点検の実施及び立会いを行う。</p> <p>受注者は、契約不適合点検において、契約不適合があると認められたときは、契約条項のとおり、履行の追完等に対応すること。</p>																										
2-18 設計変更	<p>1 設計図書の内容の一部を訂正・変更(以下「設計変更」という。)により契約変更が必要となった場合には、契約条項第24条又は第25条の規定により手続きを行うこと。</p> <p>2 設計変更の具体的な考え方等については、「相模原市請負工事設計変更ガイドライン(相模原市)」によるものとする。</p>																										
<p>・修繕仕様</p> <p>1) 特記事項のうち選択する事項は、 印の付いたものを適用する。</p>																											
項目	特記事項																										
3-1 官公庁届出申請	<p>自家電気工作物、その他所管官公庁等へ届出が必要とされる設備がある場合、届出申請を行うこと。</p> <p>(小売電気事業者、一般送配電事業者含む)</p>																										
3-2 機材	本修繕に使用する機材は「JIS、JEM、JEC等の規格品とする。																										
3-3 再使用機器	<p>取外し再使用機器は、清掃、絶縁測定のうえ取付ける。</p> <p>また、特別な清掃が必要な機器がある場合は、監督員の指示に従う。</p>																										
3-4 試験成績表の提出を行う試験項目	<p>次表に指定した設備機器等については、施工試験成績表を提出のこと。その他、試験の必要なものについては、監督職員の指示による。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設備・機器等</th><th>試験項目</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受変電設備</td><td>・構造・絶縁抵抗・耐電圧 ・総合動作試験・絶縁油</td></tr> <tr> <td>自家発電設備</td><td>・構造・絶縁抵抗・耐電圧・振動 ・保安装置・圧力・ばい煙・騒音試験 ・総合動作試験</td></tr> <tr> <td>直流電源装置</td><td>・構造・絶縁抵抗・総合動作試験</td></tr> <tr> <td>無停電電源設備</td><td>・構造・絶縁抵抗・総合動作試験</td></tr> <tr> <td>動力・電灯分電盤</td><td>・絶縁抵抗・接地抵抗測定</td></tr> </tbody> </table> <p>次表の該当項目については総合動作試験を実施すること。</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>構内交換設備</td><td>電気時計設備</td></tr> <tr> <td>構内情報通信網設備</td><td>テレビ共聴設備</td></tr> <tr> <td>拡声設備</td><td>監視カメラ設備</td></tr> <tr> <td>映像・音響設備</td><td>駐車場管制設備</td></tr> <tr> <td>出退表示設備</td><td>自動閉鎖設備</td></tr> <tr> <td>インターホン設備</td><td>自動火災報知設備</td></tr> <tr> <td>中央監視制御設備</td><td></td></tr> </tbody> </table>	設備・機器等	試験項目	受変電設備	・構造・絶縁抵抗・耐電圧 ・総合動作試験・絶縁油	自家発電設備	・構造・絶縁抵抗・耐電圧・振動 ・保安装置・圧力・ばい煙・騒音試験 ・総合動作試験	直流電源装置	・構造・絶縁抵抗・総合動作試験	無停電電源設備	・構造・絶縁抵抗・総合動作試験	動力・電灯分電盤	・絶縁抵抗・接地抵抗測定	構内交換設備	電気時計設備	構内情報通信網設備	テレビ共聴設備	拡声設備	監視カメラ設備	映像・音響設備	駐車場管制設備	出退表示設備	自動閉鎖設備	インターホン設備	自動火災報知設備	中央監視制御設備	
設備・機器等	試験項目																										
受変電設備	・構造・絶縁抵抗・耐電圧 ・総合動作試験・絶縁油																										
自家発電設備	・構造・絶縁抵抗・耐電圧・振動 ・保安装置・圧力・ばい煙・騒音試験 ・総合動作試験																										
直流電源装置	・構造・絶縁抵抗・総合動作試験																										
無停電電源設備	・構造・絶縁抵抗・総合動作試験																										
動力・電灯分電盤	・絶縁抵抗・接地抵抗測定																										
構内交換設備	電気時計設備																										
構内情報通信網設備	テレビ共聴設備																										
拡声設備	監視カメラ設備																										
映像・音響設備	駐車場管制設備																										
出退表示設備	自動閉鎖設備																										
インターホン設備	自動火災報知設備																										
中央監視制御設備																											
3-5 その他	建築工事に室内空気環境測定を行う場合は、支障が出ないようにすること。																										
3-6 残土処理	<p>現場説明書(3-(5)発生材の処分等)による。</p> <p>・ 場内敷き均し ・ 場外搬出処理</p>																										
3-7 標識シート等	<p>地中線路には以下の標識シートを埋設する。</p> <p>高圧配電線路 3.5倍長シート 低圧配電線路及び通信配電線路 2倍長シート</p>																										

3-8 地盤変異対応	建物側配管引込部の地盤変異対応は以下により行う。 沈下量 ・ 0.6m以下 ・ 1m以下 沈下量を指定していない場合は0.2m以下とする。																																						
3-9 地中線路の余長	要所、引込口及び引出口近くのハンドホール内で1巻程度ケーブル余長を見込む。																																						
3-10 電線・ケーブル	エコ電線及びエコケーブルとする。																																						
3-11 合成樹脂製可とう電線管	合成樹脂製可とう電線管（P F 管）は、一重管とする。 躯体に打込可能な配管サイズは、P F ・ 2 2 迄とする。																																						
3-12 塗装	現場で行う塗装の色合い等は、監督員の指示による。 金属露出配管（亜鉛メッキ面を含む）の塗装 1 屋内の露出配管 ・ 塗装する ・ 塗装しない 2 屋外の露出配管 ・ 塗装する ・ 塗装しない （ ）亜鉛メッキ面に塗装する場合は、プライマー（JIS K5633）処理を行う																																						
3-13 呼び線	長さ1m以上の入線しない管路には1.2mm以上のビニル被覆鉄線を挿入すること。																																						
3-14 保温・結露防止	建築工事にてF P 板（スタイロフォーム等）打込みの箇所に取り付ける位置ボックス等は保温、結露防止処理を行うこと。																																						
3-15 配線器具プレート類	1 金属製とする。 2 プレート、二重床用ケーブル接続器及び二重床用テーブルタップは、回路番号を表示する。																																						
3-16 アリーナ部分の照度測定	○ 要 ・ 不要																																						
3-17 接地工事	<p>接地極の材料は下記による。 接地棒の寸法は、1 4 1,500、材質は鋼又は鋼覆鋼製接地棒とする。</p> <table border="1"> <tr> <th>接地の種類</th><th>接地抵抗値</th><th>接地極</th></tr> <tr> <td>A 種</td><td>1 0 以下</td><td>接地銅板</td></tr> <tr> <td>B 種</td><td>電気設備技術基準による</td><td>接地銅板</td></tr> <tr> <td>C 種</td><td>電気設備技術基準による</td><td>接地銅板</td></tr> <tr> <td>D 種</td><td>電気設備技術基準による</td><td>接地棒 × 3</td></tr> <tr> <td>避雷設備用</td><td>1 0 以下</td><td>接地銅板 + 接地棒 × 3</td></tr> <tr> <td>交換機用</td><td>1 0 以下</td><td>接地銅板</td></tr> <tr> <td>保安器用</td><td>1 0 0 以下</td><td>接地棒 × 3</td></tr> <tr> <td>測定用</td><td></td><td>接地棒 × 1</td></tr> </table> <p>所定の抵抗値が得られない場合は、監督員と協議をすること。 接地銅板の寸法は、t 1.5 × 900 × 900、材質は銅板 J I S H 3100とする。 構造体利用とした接地極、現状接地極、鋼製接地極又は基礎接地極の場合における接地抵抗測定は、電圧降下法により行い、測定時期及び回数は次のとおりとする。 測定時期 （ ） 測定回数 （ ）回</p>	接地の種類	接地抵抗値	接地極	A 種	1 0 以下	接地銅板	B 種	電気設備技術基準による	接地銅板	C 種	電気設備技術基準による	接地銅板	D 種	電気設備技術基準による	接地棒 × 3	避雷設備用	1 0 以下	接地銅板 + 接地棒 × 3	交換機用	1 0 以下	接地銅板	保安器用	1 0 0 以下	接地棒 × 3	測定用		接地棒 × 1											
接地の種類	接地抵抗値	接地極																																					
A 種	1 0 以下	接地銅板																																					
B 種	電気設備技術基準による	接地銅板																																					
C 種	電気設備技術基準による	接地銅板																																					
D 種	電気設備技術基準による	接地棒 × 3																																					
避雷設備用	1 0 以下	接地銅板 + 接地棒 × 3																																					
交換機用	1 0 以下	接地銅板																																					
保安器用	1 0 0 以下	接地棒 × 3																																					
測定用		接地棒 × 1																																					
3-18 耐震処理	<p>建築設備の耐震安全性確保については、国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修「官庁施設の総合耐震・対津波計画基準」（令和3年度版）による。 なお、設備機器の固定については、同基準の解説によることとし、設計用標準水平震度は下表を適用する。</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">設置場所</th><th colspan="2">特定の施設</th><th colspan="2">一般の施設</th></tr> <tr> <th>重要機器</th><th>一般機器</th><th>重要機器</th><th>一般機器</th></tr> <tr> <td>上層階、屋上および塔屋</td><td>2.0 (2.0)</td><td>1.5 (2.0)</td><td>1.5 (2.0)</td><td>1.0 (1.5)</td></tr> <tr> <td>中間階</td><td>1.5 (1.5)</td><td>1.0 (1.5)</td><td>1.0 (1.5)</td><td>0.6 (1.0)</td></tr> <tr> <td>1階及び地下階</td><td>1.0 (1.0)</td><td>0.6 (1.0)</td><td>0.6 (1.0)</td><td>0.4 (0.6)</td></tr> </table> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">設置場所</th><th colspan="2">オイルタンク</th></tr> <tr> <th>特定の施設</th><th>一般の施設</th></tr> <tr> <td>上層階、屋上および塔屋</td><td>2.0</td><td>1.5</td></tr> <tr> <td>中間階</td><td>1.5</td><td>1.0</td></tr> <tr> <td>1階及び地下階</td><td>1.5</td><td>1.0</td></tr> </table> <p>注1 地域係数 1.0（ ）内の数値は防振支持機器の場合適用する。 注2 設計用鉛直震度は、設計用水平震度の1/2とする。 注3 重要機器については、下記に 印のついた機器が該当する。 ・ 変電電盤 ・ 配電盤 ・ 自家発電装置 ・ 直流電源装置 ・ 交換機 ・ UPS装置 ・ 自火報受信機 建物側配管引込部の耐震処理を行う配管及び建物のエキスパンションジョイント部の配管については、公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）（令和4年版）第2編「電力設備工事」（配管類10、11）による。</p>	設置場所	特定の施設		一般の施設		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器	上層階、屋上および塔屋	2.0 (2.0)	1.5 (2.0)	1.5 (2.0)	1.0 (1.5)	中間階	1.5 (1.5)	1.0 (1.5)	1.0 (1.5)	0.6 (1.0)	1階及び地下階	1.0 (1.0)	0.6 (1.0)	0.6 (1.0)	0.4 (0.6)	設置場所	オイルタンク		特定の施設	一般の施設	上層階、屋上および塔屋	2.0	1.5	中間階	1.5	1.0	1階及び地下階	1.5	1.0
設置場所	特定の施設		一般の施設																																				
	重要機器	一般機器	重要機器	一般機器																																			
上層階、屋上および塔屋	2.0 (2.0)	1.5 (2.0)	1.5 (2.0)	1.0 (1.5)																																			
中間階	1.5 (1.5)	1.0 (1.5)	1.0 (1.5)	0.6 (1.0)																																			
1階及び地下階	1.0 (1.0)	0.6 (1.0)	0.6 (1.0)	0.4 (0.6)																																			
設置場所	オイルタンク																																						
	特定の施設	一般の施設																																					
上層階、屋上および塔屋	2.0	1.5																																					
中間階	1.5	1.0																																					
1階及び地下階	1.5	1.0																																					

A	L E D 高天井用照明器具		B1	L E D 直付型照明器具		B2	L E D 直付型照明器具		C 1	L E D 埋込型照明器具		D	L E D 直付型照明器具		E 3	L E D 埋込ダウンライト																			
	広角タイプ 電源内臓																																		
昼白色 （5000K） 42300lm 落下防止ワイヤー付 100～242V 230.2W						昼白色 （5000K） 3200lm 100～242V 20.6W						昼白色 （5000K） 5200lm 100～242V 31.9W						一般タイプ、5200lmタイプ 消費電力31.9W、定格出力型、電圧100～242V 本体：亜鉛銅板 反射板：銅板（高反射白色粉体塗装） ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白） 光源寿命40000時間（光束維持率85%） 昼白色（5000K）、Ra83、電源装置はライトバー側に内蔵						昼白色 （5000K） 6900lm 100～242V 43.1W						昼白色 （2700K） 560lm 100～242V 8.4W 配光角度80° 天井開口寸法 150 調光形					
使用場所 アリーナ天井			使用場所 階段 WC			使用場所 武道場 器具庫 物入 階段 放送室 控室			使用場所 器具庫 玄関 倉庫			使用場所 ステージ			使用場所 放送室																				
公共施設型番		LSR2W-400		公共施設型番		LSS9-4-30		公共施設型番		LSS9-4-48		参考型番		XLX450VENTLE9		公共施設型番		LSS1-4-65		参考型番		XAD3108LCB1+FK80012													
F	L E D 直付型照明器具					H	L E D 屋外ウォールライト		O	L E D 埋込型照明器具		避C	L E D 避難口誘導灯 C 級 片面 壁付			調光スイッチ																			
温白色 （5000K） 5050lm 100～242V 31.9W 直付型40形 コーナーライト						昼白色 （5000K） 990lm 100～242V 10W SUS型						リニューアル専用、一般タイプ、5200lmタイプ 消費電力21.8W、定格出力型、電圧100～242V 本体：亜鉛銅板 反射板：銅板（高反射白色粉体塗装） ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白） 光源寿命40000時間（光束維持率85%） 昼白色（5000K）、Ra83、電源装置はライトバー側に内蔵			アリーナ部はガードを設置すること 参考型番：FK01561Z						参考誘導灯リニューアルプレート FK11747C														
使用場所 ステージ 放送室			使用場所 屋外通路			使用場所 玄関 倉庫			使用場所 玄関 倉庫			使用場所 アリーナ 玄関			使用場所 放送室																				
参考型番		XLX450CENT		公共施設型番		LBF3MP/RP-2-06		参考型番		XLX239RENLE9		公共施設型番		SH1-FBF20-C		参考型番		WTC57583W																	

田名中学校

外部				
現況		▶	改修	
20-1直付	8		H	8

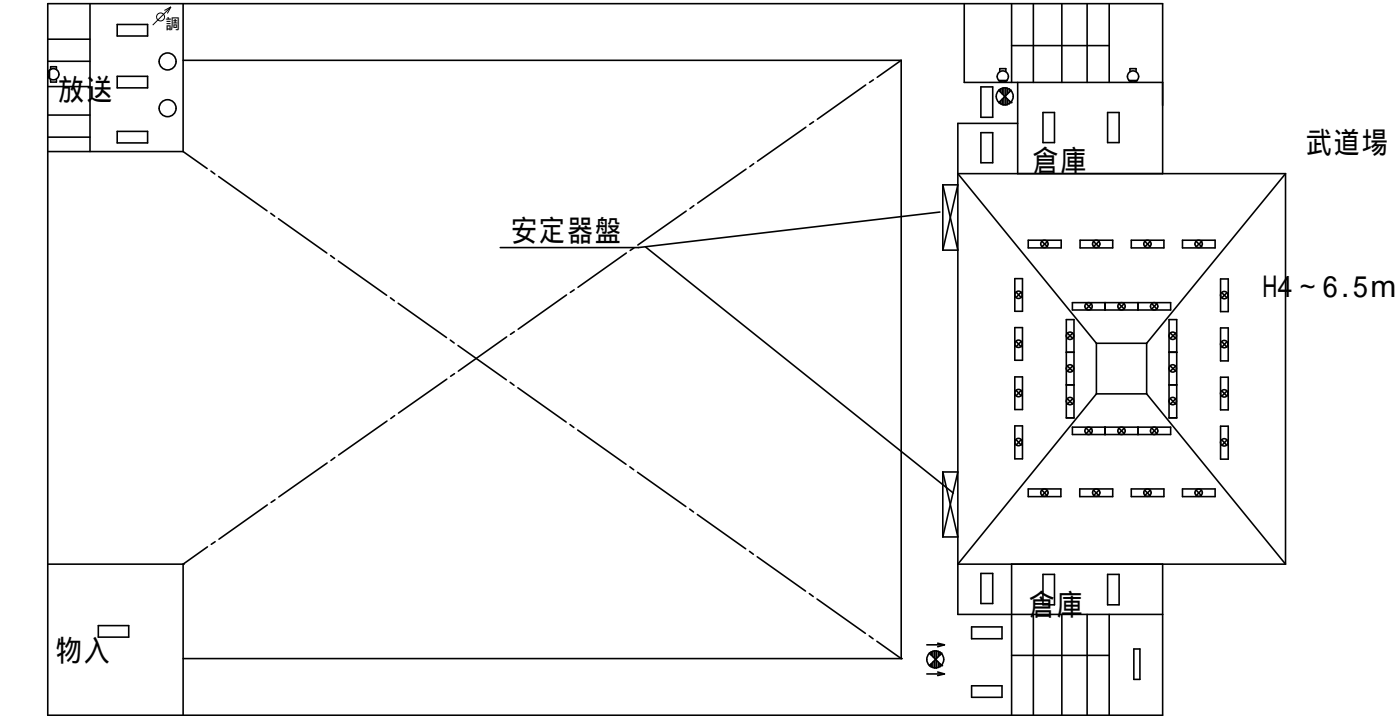
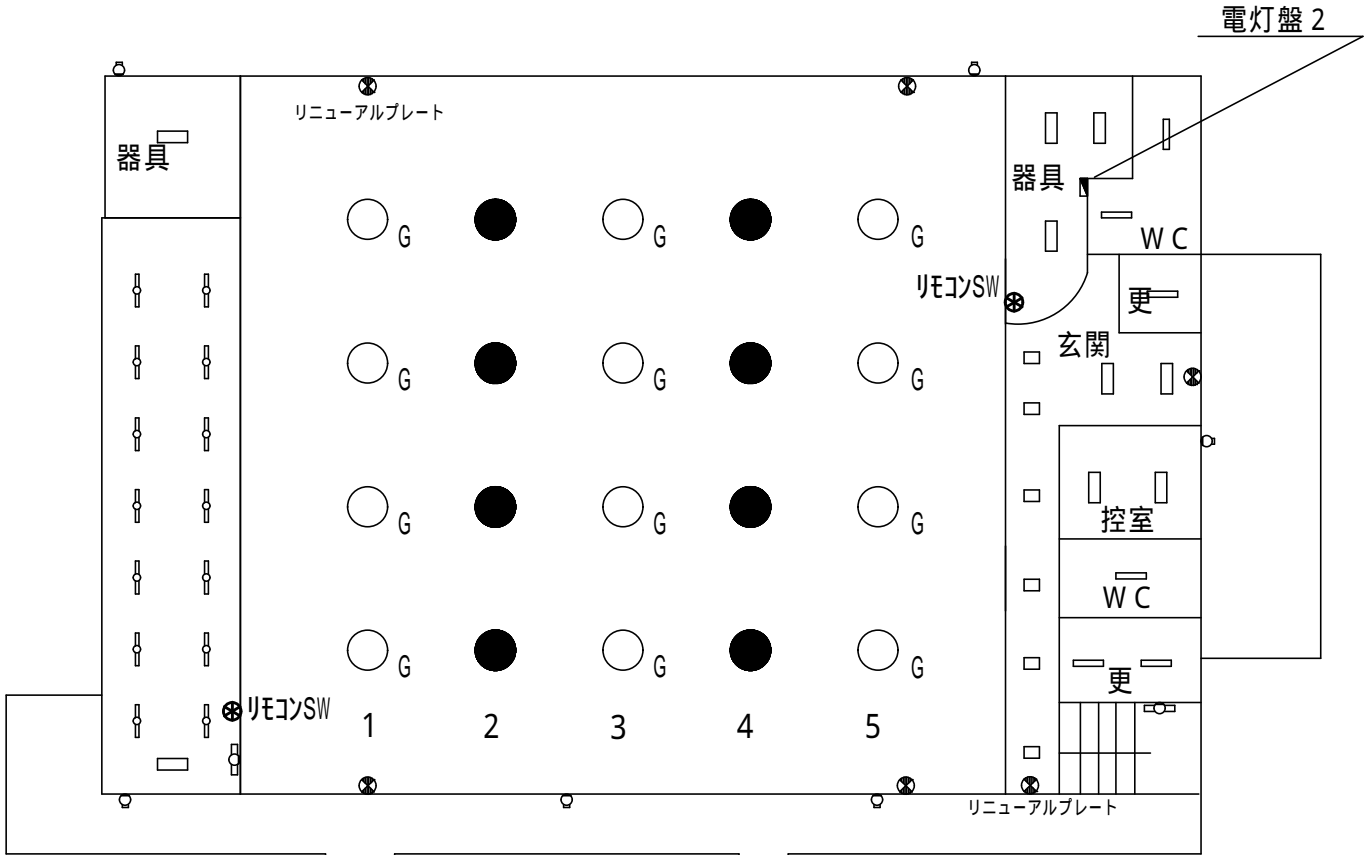
アリーナ				
現況		▶	改修	
M F 700直付	20		A	20
誘導灯	4		避 C	4

器具庫				
現況		▶	改修	
埋込40-2	4		C1	4

放送室				
現況		▶	改修	
40-2直付	3		B2	3
埋込 D L	2		E3	2
40-1直付	1		F	1

倉庫				
現況		▶	改修	
埋込40-2	4		C1	4
埋込20-2	2		0	2

武道場				
現況		▶	改修	
40-2直付	28		B2	28



物入				
現況		▶	改修	
40-2直付	1		B2	1

階段				
現況		▶	改修	
40-1直付	1		B1	1
40-2直付	3		B2	3
誘導灯	1		避 C	1
誘導灯	1		避 C1	1
40-1直付	1		F	1

ステージ				
現況		▶	改修	
40-1直付	14		D	14
40-1直付	1		F	1
40-2直付	1		B2	1

玄関				
現況		▶	改修	
40-2埋込	2		C1	2
20-2埋込	6		0	6
誘導灯	2		避 C	2

WC				
現況		▶	改修	
40-1直付	3		B1	3

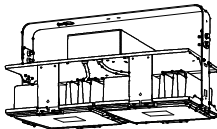


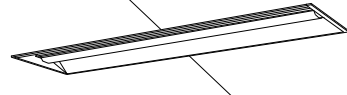
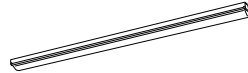
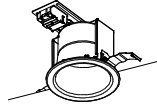



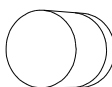
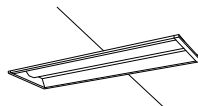
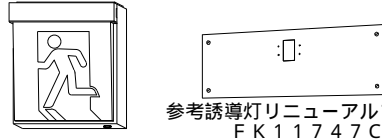
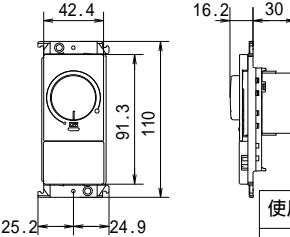
控室				
現況		▶	改修	
40-2直付	2		B2	2

アリーナ面：W26m × D30.5m × H8.5 ~ 10.5m

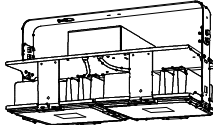



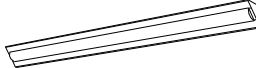
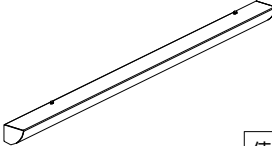



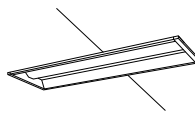
- 凡例・注記
- [1] 図中の照明器具の更新を行う。
 - [2] アリーナ照明の回路分け変更（アリーナ照明1～5＋一括）に伴い、既存安定器盤内端子の再利用等を行い、組み換え結線を行う。
 - [3] 上記のアリーナ照明変更に伴い、リモコンスイッチの設定を変更する。
 - [4] 非常用発電機回路系統を、既存箇所（塗潰しの照明）から G 傍記の箇所に変更する。
 - [5] アリーナ、ステージの LED 化に伴い、足場（ローリングタワー）の設置及び床養生を行う。
- ・放送室
調光 SW の更新を行う。
- ・安定器盤
安定器 20 個を撤去。

田名中学校

現況・改修

A	L E D 高天井用照明器具		B1	L E D 直付型照明器具		B2	L E D 直付型照明器具		C1	L E D 埋込型照明器具		D	L E D 直付型照明器具		E 3	L E D 埋込ダウンライト																																					
	広角タイプ 電源内蔵																																																				
昼白色 （5000K） 43200lm 落下防止ワイヤー付 200～242V 230.2W						使用場所 アリーナ天井			昼白色 （5000K） 3200lm 100～242V 20.6W						使用場所 更衣室 WC			昼白色 （5000K） 5200lm 100～242V 31.9W						使用場所 放送室			一般タイプ、5200lmタイプ 消費電力31.9W、定格出力型、電圧100～242V 本体：亜鉛鋼板 反射板：銅板（高反射白色粉体塗装） ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白） 光源寿命40000時間（光束維持率85%） 昼白色（5000K）、Ra83、電源装置はライトバー側に内蔵						使用場所 武道場 玄関 器具庫 倉庫 ステージ			昼白色 （5000K） 6900lm 100～242V 43.1W						使用場所 ステージ			昼白色 （2700K） 560lm 100～242V 8.4W 配光角度80° 天井開口寸法 150 調光形						使用場所 放送室		
参考型番		LSR2W-400		公共施設型番		LSS9-4-30		公共施設型番		LSS9-4-48		参考型番		XLX450VENTLE9		公共施設型番		LSS1-4-65		参考型番		XAD3108LCB1+FK80012																															
F	L E D 直付型照明器具		H	L E D 屋外ウォールライト		M	40形電球1灯器具相当		O	L E D 埋込型照明器具		避C	L E D 避難口誘導灯 C級 片面 壁付			調光スイッチ																																					
温白色 （5000K） 5050lm 100～242V 31.9W 直付型40形 コーナーライト						使用場所 ステージ 放送室			昼白色 （5000K） 990lm 100～242V 10W SUS型						使用場所 屋外通路			電球色（2700K）、Ra80 器具光束309lm、消費電力4.3W、電圧100V 壁面・天井面取付専用 ネジ込み方式、防湿型・防雨型 プラスチック（ホワイト） カバー：ガラス（乳白） カバーキャッチ付						使用場所 WC			リニューアル専用、一般タイプ、3200lmタイプ 消費電力21.8W、定格出力型、電圧100～242V 本体：亜鉛鋼板 反射板：銅板（高反射白色粉体塗装） ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白） 光源寿命40000時間（光束維持率85%） 昼白色（5000K）、Ra83、電源装置はライトバー側に内蔵						使用場所 玄関 倉庫			アリーナ部はガードを設置すること 参考型番：FK01561Z						参考誘導灯リニューアルプレート FK11747C			使用場所 アリーナ 玄関						使用場所 放送室		
参考型番		XLX450CENT		公共施設型番		LBF3MP/RP-2-06		参考型番		LGW85014WZ		参考型番		XLX239RENLE9		公共施設型番		SH1-FBF20-C		参考型番		WTC57583W																															

06/

A	L E D高天井用照明器具			B1	L E D直付型照明器具			B2	L E D直付型照明器具			C1	L E D埋込型照明器具			D	小型シーリングライト			F	L E D直付型照明器具																						
	広角タイプ 電源内蔵																																										
昼白色（5000K） 16000lm 落下防止ワイヤー付 100～242V 83.6W								昼白色（5000K） 3200lm 100～242V 20.6W								昼白色（5000K） 5200lm 100～242V 31.9W								一般タイプ、5200lmタイプ 消費電力31.9W、定格出力型、電圧100～242V 本体：亜鉛鋼板 反射板：銅板（高反射白色粉体塗装） ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白） 光源寿命40000時間（光束維持率85%） 昼白色（5000K）、Ra83、電源装置はライトバー側に内蔵				LED内蔵<ワンコア（ひと粒）タイプ>、電源ユニット内蔵、天井直付型 5000K、Ra85、拡散タイプ 器具光束2080lm、消費電力16.8W、電圧100V								温白色（5000K） 5050lm 100～242V 31.9W 直付型40形 コーナーライト							
公共施設型番		NYM20221LR9		公共施設型番		LSS9-4-30		公共施設型番		LSS9-4-48		参考型番		XLX450VENTLE9		参考型番		NCN25300WLE1		参考型番		XLX450CENT																					
G	L E Dミラーライト			H	L E D屋外ウォールライト			I	L E D直付型照明器具			K	L E D直付型照明器具			避C	L E D避難口誘導灯			L	L E D電球 軒下用シーリングライト																						
																	C級 片面 壁付																										
標準タイプ、5000K、高演色Ra93、高演色タイプ クラス2 器具光束1350lm、消費電力11.7W、電圧100V カバー：プラスチック（乳白） サイドカバー：プラスチック（ホワイトつや消し） 壁面（横向け）取付専用 幅620・高87・出寸110								昼白色（5000K） 990lm 100～242V 10W SUS型								一般タイプ、3200lmタイプ 消費電力21.8W、定格出力型、電圧100～242V 本体：銅板（白色粉体塗装） ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白） 光源寿命40000時間（光束維持率85%） 昼白色（5000K）、Ra83 電源装置はライトバー側に内蔵								一般タイプ、5200lmタイプ 消費電力31.9W、定格出力型、電圧100～242V 本体：亜鉛鋼板 反射板：銅板（高反射白色粉体塗装） ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白） 光源寿命40000時間（光束維持率85%） 昼白色（5000K）、Ra83 電源装置はライトバー側に内蔵				避B B級 片面 壁付				軒下用（防雨型） 本体：アルミ（クールホワイトつや消し仕上） 枠：アルミ（クールホワイトつや消し仕上） パネル：アクリル（透明つや消し） 天井直付型 セード径： 212、高：155											
参考型番		NNN13510LE1		公共施設型番		LBF3MP/RP-2-06		参考型番		XLX230NENCLE9		参考型番		XLX230DENCLE9		公共施設型番		SH1-FBF20-C/-B		参考型番		NNN53820WK																					
O	L E D埋込型照明器具																																										
リニューアル専用、一般タイプ、3200lmタイプ 消費電力21.8W、定格出力型、電圧100～242V 本体：亜鉛鋼板 反射板：銅板（高反射白色粉体塗装） ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白） 光源寿命40000時間（光束維持率85%） 昼白色（5000K）、Ra83、電源装置はライトバー側に内蔵																																											
参考型番		XLX239RENLE9																																									



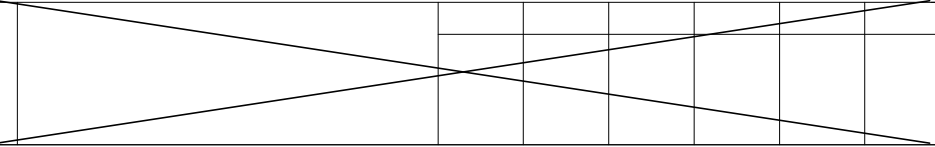
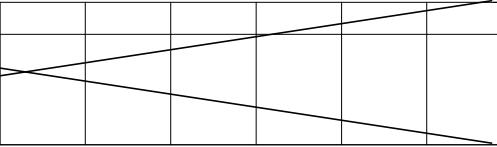
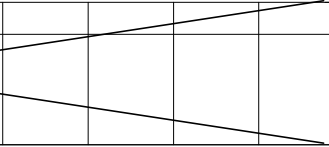
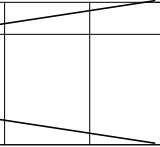
SAGAMIHARA

相模原市

修繕名称

市立田名中学校外3校屋内運動場
高天井照明LED化改修修繕

内郷中学校

	SAGAMIHARA			修繕名称 市立田名中学校外3校屋内運動場 高天井照明LED化改修修繕																																																																																																																																							
--	------------	--	---	--	--	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

